Ｃ－１　本時案

５．本時の学習　(第二次中の６時)

（１）ねらい

マサエの「神様」に対する考え方がどのように変容したかを読み取ることができる。

（読むこと）

（２）活用力向上のために

「雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」といったマサエの変容をつかませるために、わらぐつと雪げたを対比させ「神様」をキーワードにして読み取ることができるようにする。

（学び方）

（３）準　備　わらぐつと雪げたの実物　挿絵

（４）展　開

学習活動	時	児童の意。識の流れ	活用力への支援☆ 支援◎　　評価◆
１．課題を確認しアイテムを意識する	5	○マサエの「神様」に対する考えは変わったかな。 ・　マサエはわらぐつの中の「神様」は迷信だと思っていた。 ・　おばあちゃんの話を聞いて変った。 ・　雪げたにも神様がいるかも知れないと言っている。 <マサエはどうして「この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね」と言ったのか>	◎事前に課題に対する考えをもたせ、全員が自分なりの考えをもてているかを確認する ☆これまで積み上げてきたアイテムの中から自分が使ったアイテムをメタ認知できるようにする。 ◎3 場面ではわらぐつではなく雪げたにも神様がいると思っていることをはっきりさせる。
２．自分の考えを整理する	5	・　どんなふうに話したら上手く伝わるかな ・　ノートを見て考えを整理しよう。 ・　グループの人と交流してみよう。	◎必要に応じてグループで交流を取り入れ発表に自信がもてるようにする。
３．考えを聴き合い深める	25	雪げた ・　きれいでかわいいから ・　わらぐつと同じで使う人の身になって作ったものだから ・　大事にしまってあったから おじいちゃん（大工さん）の思い ・　せっせと働いて買ってくれたから ・　すぐに買ってくれたから ・　おばあちゃんを神様みたいに大切にしてくれたから おばあちゃんの思い ・　おじいちゃんの思いがもったいなくて使えなかったから ○　マサエは「神様」をどんなものと考えたのかな。 ・　温かい心　　・思いやり ・　優しさ　　・一生懸命な心	◎「外見」「人の思い」の観点で考えを整理して板書し、まとめに生かせるようにする。 ☆わらぐつの中の「神様」と雪げたの中の「神様」を対比させ、マサエの「神様」に対する考えの変容を整理していきたい。 ◆マサエの考えの変容を大工さんやおみつさんの考え方とつなげて読み取っている。 【読：発表・ノート】 ◎おばあちゃんの思いが出にくい時は、教師が深めの発問をする。 ◎「神様」を一言で表すとどうなるか考え主題につなげ第三次に生かしたい。
４．まとめをし次時の課題を知る	5	おみつさんや大工さんの話を聞いて、マサエの「神様」に対する考え方が変容した。使う人の身になって作ったものやそれを作った人だけが神様ではなく、「誰かのために」「心をこめる」という人の思いも神様なのかもしれないとマサエは思うようになった。	◎課題に対する考えが整理できない時は、板書で学習をふり返ったり、まとめられた児童のノートを読んで広めたりする。 ◎できるだけ自分の言葉でまとめられるようにする。
５．本時の学びをふり返る	5	○　今日の読みをふり返ろう。 ・　マサエの変容を読み取ることができたよ ・　友達の考えで考えが深まった。	☆本時のふり返りとして、他に転移できる学び方をおさえるようにする。児童が気づかないときは、教師がおさえたい。